



河井寛次郎記念館開館40周年記念 陶祖800年祭記念・瀬戸市制施行84周年記念

瀬戸市美術館特別企画展

河井寛次郎陶芸

— 科学者の眼と —

詩人の心 —

KAWAI KANJIRO



平成25年10月5日(土)～11月24日(日)

開館時間:9時～17時(入館は16時30分まで)、初日は11時開館 休館日:10月8日(火)、11月12日(火)

◎入館料:大人500円(400円)、高大生300円(240円) ()内は20名以上の団体

※中学生以下、妊婦、65歳以上、障害者手帳をお持ちの方は無料

◎主催:瀬戸市美術館、公益財団法人瀬戸市文化振興財団、中日新聞社

◎協力:河井寛次郎記念館 ◎助成:財団法人自治総合センター

瀬戸市美術館
Seto City Art Museum

右上:三彩鳥天使水注 大正11(1922)年 左上:呉洲貼文扁壺 昭和36(1961)年 右下:三色打葉扁壺 昭和38(1963)年 左下:白地草花絵扁壺 昭和14(1939)年



陶祖800年祭

河井寛次郎は、日本近現代の陶芸界に大きな足跡を残した日本を代表する陶芸作家です。

河井寛次郎は、明治23(1890)年、鳥根県能義郡安来町(現：安来市)に生まれ、大正3(1914)年に東京高等工業学校窯業科を卒業後、京都市(立)陶磁器試験場に勤務し、作陶の技術、特に釉薬の研究などを行いました。そして大正9(1920)年頃には京都五条坂に「鐘溪窯」を築き、本格的に作陶活動を開始しました。寛次郎は当初、中国や朝鮮の古陶磁の研究を踏まえた高い技術による作品を制作していましたが、柳宗悦や濱田庄司と共に民藝運動に携わってからは、「用」を意識しながらも力強い作品を、そして晩年には個性的で自由奔放な作品を制作しました。

今回の展覧会では、ひたすら美を追求するため、重要無形文化財保持者(人間国宝)や文化勲章の推薦を断り、一陶工として生涯を終えた寛次郎陶芸の全貌を、その原点としての化学的な研究から生み出された作品から、寛次郎の哲学や人生観をも表現していくことになる晩年の作品まで一堂に展示します。

また、本年は、昭和12(1937)年に自らの設計により建築した住居兼工房を、寛次郎の没後に一般公開された河井寛次郎記念館が開館40周年となることから、本展はその記念展でもあります。館内には寛次郎によって制作あるいはデザインされた陶器や木彫作品、家具・調度類が展示してあり、寛次郎の世界観を今に伝えています。

本展により、河井寛次郎が目指した陶芸の真髄を間近でご覧いただくことで、寛次郎の美の魅力を感じていただければと思います。

- 展 第1章 河井寛次郎陶芸の原点 (明治43年・1910～昭和2年・1927)
示 第2章 河井寛次郎陶芸の展開 (昭和4年・1929～昭和19年・1944)
内 第3章 河井寛次郎陶芸の発展 (昭和20年・1945～昭和41年・1966)
容 第4章 河井寛次郎芸術の多様性



①



③



②



④



⑤



⑥



⑦



⑧

- ①白瓷人物文壺「誕生歡喜」 大正4(1915)年
②青釉鉢血文桃注 大正11(1922)年頃
③青釉指掛鉢 昭和5(1930)年
④緑釉抜蠟抱瓶形扁壺 昭和18(1943)年
⑤呉洲筒描魚文大鉢 昭和27(1952)年
⑥碧釉扁壺 昭和41(1966)年頃
⑦木彫像 昭和29(1954)年
⑧鉄釉球体

関連事業

●講演会「河井寛次郎の陶芸」

講師：諸山正則氏(東京国立近代美術館主任研究員)
日時：10月14日(月・祝) 午後1時～3時
場所：瀬戸市文化センター文化交流館22会議室
※事前申し込み不要、参加費無料

●スペシャルギャラリートークPart1

講師：鷺江氏(河井寛次郎記念館学芸員)
日時：10月5日(土) 午後1時30分～
場所：美術館展示室 ※事前申し込み不要、要入館料

●スペシャルギャラリートークPart2

講師：濱田琢司氏(南山大学人文学部日本文化学科准教授)
日時：10月30日(水) 午後2時～
場所：美術館展示室 ※事前申し込み不要、要入館料

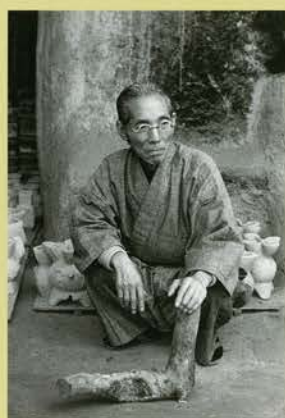
●ギャラリートーク(当館学芸員による作品解説)

日時：10月20日(日)、11月9日(土) 両日とも午後1時30分～
場所：美術館展示室 ※事前申し込み不要、要入館料

●茶話会

鷺江氏(寛次郎の孫)所蔵の寛次郎作の茶碗でお茶を飲みながら、鷺江氏による寛次郎に関するお話があります。
日時：10月13日(日) 午後1時～、午後3時30分～
10月14日(月・祝) 午前10時～、午後3時～
場所：瀬戸市文化センター文化交流館12会議室
定員：各回10名 参加費：2,000円

お申し込み方法：往復ハガキにより瀬戸市美術館あてにお申し込みください(9月20日(金)必着)。応募多数の場合は抽選とさせていただきます(先着順ではございません)。お申し込みは、往復ハガキ「往信」に(1)参加希望日時(第1希望)(2)参加希望日時(第2希望)(3)お名前(フリガナ)(4)郵便番号・ご住所(5)電話番号をご記入ください。往復ハガキ「返信」には、お申し込みされる方のご住所、お名前をご記入ください。往復ハガキ1枚にて1名の申し込みとなります。



河井寛次郎記念館開館40周年記念 陶相800年祭記念・瀬戸市制施行84周年記念

瀬戸市美術館特別企画展

河井寛次郎 陶芸

—科学者の眼と
詩人の心—

KAWAI KANZIRO

近隣施設のご案内

●瀬戸市新世紀工芸館

企画展「戸田守宣 山下真人」
10月12日(土)～平成26年1月26日(日)
問い合わせ TEL 0561-97-1001

●瀬戸市マルチメディア伝承工芸館

企画展「情景を描く一瀬戸染付を中心に」
10月2日(水)～12月27日(金)
問い合わせ TEL 0561-89-6001

●愛知県陶磁美術館

「泥象 鈴木治の世界
—「使う陶」から「観る陶」、そして「詠む陶」へ—」
10月12日(土)～12月23日(月・祝)
問い合わせ TEL 0561-84-7474

関連展示

●豊田市民芸館

特別展「バーナード・リーチ」
9月10日(火)～12月1日(日)
問い合わせ TEL 0565-45-4039
※瀬戸市美術館の入館券の半券をご提示いただくと、入館料の割引があります。

●瀬戸蔵ミュージアム

企画展「瀬戸の絵皿Ⅱ」
9月28日(土)～12月1日(日)
問い合わせ TEL 0561-97-1190

【交通案内】

- JR名古屋駅から(所要時間約1時間)
地下鉄東山線で「栄」へ。名鉄瀬戸線に乗り換え「栄町」から「尾張瀬戸」下車。徒歩13分。
- 「名古屋IC」・「長久手IC」から(所要時間約30分)
東名高速道路「名古屋IC」・「長久手IC」を降りて瀬戸方面へ。グリーンロード「愛・地球博記念公園」、または「八重IC」まで行き、左折(北)し、瀬戸市街地へ。
- 「せと赤津IC」から(所要時間約10分)
東海環状自動車道「せと赤津IC」を降りて瀬戸方面へ。



瀬戸市美術館

Seto City Art Museum

〒489-0884 愛知県瀬戸市西沢町113-3
TEL 0561-84-1093 FAX 0561-85-0415
E-mail art@city.seto.lg.jp
URL <http://www.seto-cul.jp/>